

一人一人に寄り添い可能性を伸ばす支援 Step into the Future

稲城第三小学校では、児童一人一人の力や可能性を最大限に伸ばすため、適切な指導及び必要な教育的支援を行う特別支援教育を推進しています。

4組（知的障害学級・固定）

現在1年生から6年生までの24名の児童が在籍しています。学級担任4名、講師、専務的非常勤職員、介助員等が指導・支援に当たっています。4組では、自立（人の助けを借りながらできることを増やしていくこと）、自律（相手の気持ちを考えながら行動すること）を目指します。通常の学級との交流及び共同学習は、交流学級を中心に、4組の児童が各学年・学級の一員として一緒に活動します。通常の学級の児童には、同じ学年の仲間として、共に成長する関係を作るよう、4組について理解を深める指導をします。

すまいるルーム（特別支援教室）

現在、通常の学級に在籍しながら、個別の支援を要する26名の児童が学んでいます。拠点校の南山小学校から巡回指導教員4名が来て、三小のすまいるルーム専門員、各学級担任と連携し、指導・支援に当たっています。すまいるルームは、気持ちのコントロールや集中、集団行動や状況判断、刺激過敏、他者との関わり、学習面の課題等に困っている児童が対象です。在籍学級での一部の授業に換え、自立活動（①健康の保持、②心理的な安定、③人間関係の形成、④環境の把握、⑤身体の動き、⑥コミュニケーション）を学びます。

通常の学級における特別支援教育

通常の学級でも、特別支援教育の視点をもち、児童の誰もが授業に参加できる環境づくり、できる・分かる・認められる授業づくりに向け、児童のつまずきを解消する手だての工夫に努めています。

例：目標の焦点化、見通しがもてる授業展開、教具やデジタル機器の活用、分かりやすい説明、刺激の調整・整理整頓、明確なルール

校内委員会

校長、副校長、主幹教諭、特別支援コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラー等で組織しています。毎月定期的に、特別な支援を要する児童一人一人に合った指導や環境の工夫等を協議します。個別の支援計画による支援情報の共有と活用とともに、校内の全教員との共通理解、関係機関との連携を図ります。

スクールカウンセラーによる教育相談

心の専門家であるスクールカウンセラーが、毎週金曜日に勤務しています。相談時間は、9：35～16：45に予約枠を設定しています。お子様のことで心配なことがあり、ご相談や面談の希望のある方は、学級担任、または、金曜日にカウンセラー須玉までご連絡ください。

電話 042-377-9077

きこえとことばの教室（通級指導学級）

適切な発音や発話の定着を図ったり、読み書きの力を伸ばしたり、聴力管理やきこえの力を支えたりする学級です。対象児童は、週1回程度、向陽台小学校へ通います。

巡回相談

月1回程度、巡回相談心理士が来校します。各教室の授業を観察のうえ、一人一人の児童に合った指導や環境の工夫について、心理士から、学校として専門的な指導・助言を受けています。希望があれば保護者の方も相談できます。

副籍事業における交流及び共同学習

地域との連携を一層進め、共生社会の実現に向け、副籍制度を推進しています。本校の学区内に住む特別支援学校に通う児童が、三小に副次的に在籍し、授業や学校行事の直接的な交流及び共同学習、または、手紙等の間接的な交流及び共同学習に取り組みます。令和7年度は、都立多摩桜の丘学園の児童2名と交流を深め、共同学習を進めます。

稲城市特別支援教育相談室

お子様の就学先や学校生活で心配なこと、困りごとについては、稲城市の相談員、言語聴覚士もご相談を受け付けています。

電話 042-331-7302

メール syuugakusoudan@city.inagi.lg.jp

連絡時間 平日9：00～16：30

所在地 稲城市平尾1-9-1

ふれんど平尾4階